

みんなとともに笑顔いっぱい — 「101」 新たなるステージへ —



みんなとともに



教頭先生の“お手柄”です。工事が3つ入ることになりました。「中校舍屋上の防水シート工事（雨漏り対策）」「体育館床の補修工事（シロアリ影響対策）」「木の伐採工事（電線への影響除去）」です。教頭先生がマメに市教委へ連絡しているので、本校の大変さを分かってもらえたのだと思います。まもなく“還暦”を迎える校舎ですが、ケアしながら大切に使っています。



「個別懇談」お世話になりました。

説明が遅くなりましたが、今回の「個別懇談」は、「通知票の2期制」と連動して設定したものでした。

4月

10月

3月

前期	後期
----	----

〈前期〉 所見を記載しない（個別懇談に替える）
 〈後期〉 所見を記載する

☆ ← 個別懇談（7月末 通常なら夏季休業中）

図らずも、担任と保護者が初めて向き合って話をする場となりました。1学期のわが子の様子についての話を聞いて、安心していただけたら幸いです。心配な点があるときは、いつでも学校へお話しください。

「保健委員会からのお知らせ」の内容を紹介します。

7月27日（月）から「昼の放送」で保健委員会の子どもが全校生に呼びかけていました。教師が作った原稿を読んでいるのかな、と思ったら、自分たちで考えた内容（委員長作成）だとのこと。とてもよい内容でしたので、皆さんにも紹介します。

【保健委員会からのお知らせ】

保健委員会からのお知らせです。

保健委員会では、熱中症に皆さんがならないように大切なポイントを三つ調べました。

1つ目のポイントは、生活リズムを整えることです。生活リズムとは、早寝、早起きなどのことです。夜遅くゲームをして遅く寝たり、遅く寝たのにすごく早く起きるなどのことは、してはいけません。最低でも、9時から12時間はぐっすり寝るようにしましょう。

2つめのポイントは、朝ご飯をきっちり食べることです。朝ご飯には、栄養、水分が多く含まれているので、朝ご飯をきちんと食べて、朝から学校の給食の時間までを元気に過ごしましょう。

3つ目は、こまめに水分をとることです。夏は暑くてのどがよくかわくことが多いと思います。夏は、水筒を持ってきて、約30分に1回は、水分をとるように心がけましょう。

この3つのポイントを守って、熱中症にならず、夏を楽しく、元気いっぱいに過ごしましょう。

これで、保健委員会からのお知らせを終わります。

【校長のつぶやき】 その38 「ハチにご注意！」

“一瞬”だった。草刈り機を右から左に動かした刹那、右手の甲に、ものすごい痛みを感じた。いや、痛みではない。「熱さ」である。瞬間的な「熱さ」である。草刈り機の刃か、枝などの破片がとんできてあたったのかと始めは思った。でも、その場の状況から、もしかしたらハチではないかと思い直し、毒を吸い出した。そして、市販の薬をつけてみた。

最初は、うそのように何の変化もない。ただ、刺されたところが、ヒリヒリするぐらいである。数時間後には、手の甲の半分が腫れてきた。次第に腫れは広がり、次の日には全体に広がった。そして、手の甲はパンパンに腫れ上がった。まさに、“グローブのように”である。

病院に行かなくても治るとは思ったが、念のため行ってみた。「同じ症状の方が今日3人目です」という無碍もない医者言葉と、塗り薬、飲み薬をもらって帰ってきた。

さて、後から調べた「ハチに刺されたときの対処法」で大切な点は、ハチの毒は水に溶けやすいので、まずは「流水で冷やしながらかう」ということである。ちなみに、毒を口で吸い出すことはしない方がよいようである。また、刺されて1時間以内に「アナフィラキシー症状（急性のアレルギー反応）」が出現したときが危ないので、その際は至急の医療機関の受診が必要である。なお、この「アナフィラキシー症状」は一度刺されてからが危ないらしい。ということで、私の命は、“ハチ”にも委ねられることになった。